

2026年3月30日

日本化薬株式会社

(コード番号 4272 : 東証プライム)

フェリング・ファーマ株式会社

膀胱がん治療薬ナドファラゲン フィラデノベクの 日本国内におけるコ・プロモーション契約締結に関するお知らせ

日本化薬株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：川村茂之、以下、「日本化薬」）とフェリング・ファーマ株式会社（東京都港区、代表取締役社長 CEO：ジョン・プルバー、以下、「フェリング・ファーマ」）は、膀胱がん治療薬ナドファラゲン フィラデノベク（以下、「本剤」）の日本国内におけるコ・プロモーション契約を締結しましたので、お知らせいたします。

本提携により、本剤の製造販売承認の取得後に両社共同でプロモーション活動を行い、膀胱がん患者様の治療選択肢の拡大を目指します。また、本剤の販売はフェリング・ファーマが担当いたします。

本剤は、BCG 治療が奏効しない筋層非浸潤性膀胱がん（NMIBC）患者様を対象に、膀胱内投与によって持続的インターフェロン発現を誘導する、非複製型アデノウイルスベクターを用いた遺伝子治療製品です。本剤は 2025 年 8 月 27 日に製造販売承認申請が行われました。

日本化薬が長年にわたり筋層非浸潤性膀胱がんの標準治療薬「イムノブラダー[®]膀胱用」のプロモーションを通して得られた知見と、フェリング・ファーマの泌尿器がん領域における豊富な知見を相乗的に活かすことで、医療従事者への情報提供の拡充ならびに膀胱がん患者様の治療向上に向けた新たな貢献を目指します。

日本化薬株式会社 代表取締役専務執行役員 島田博史 は次のように述べています。

「この度、フェリング・ファーマ株式会社とともに、本剤のプロモーションにおいて協業できることを大変光栄に思います。本剤は遺伝子治療薬として新たな治療選択肢を提供するものであり、長年にわたり培ってきた膀胱がん治療領域における経験と実績を活かし、本剤の価値を一人でも多くの患者様にお届けできるよう努めてまいります。」

フェリング・ファーマ株式会社 代表取締役社長 CEO ジョン・プルバー は次のように述べています。「これまで筋層非浸潤性膀胱がんの標準治療薬のプロモーションを通して豊富な知見をもつ日本化薬株式会社と、今回新たに提携が実現したことを大変うれしく思います。長年新たな治療法が求められてきた筋層非浸潤性膀胱がんの患者様や医療関係者の皆さまに、より一層貢献できるよう日本化薬株式会社とともに取り組んでまいります。」

両社は今後も、患者様と医療関係者の皆様に寄り添いながら、膀胱がん治療の質向上に向けた取り組みを継続してまいります。

フェリング・グローバル（以下「フェリング」）について

フェリングは、人々が家族を築き、より良い生活を送れるようになることを目標に掲げる、株式非公開の研究主導型スペシャリティファーマです。フェリングは生殖医療領域のリーダーであり、消化器領域および泌尿器領域において力強い存在感を示してきました。さらに泌尿器がん領域の先端技術の最前線にいます。フェリングは、1950年設立であり、スイスのサンブレに本社を置き、世界100カ国以上で製品を販売し、約7,500名の従業員を擁しています。

フェリング・ファーマ株式会社について

フェリング・ファーマ株式会社はフェリングの子会社として2001年2月に設立され、本社は東京都港区です。フェリング・ファーマ株式会社 ホームページ <https://www.ferring.co.jp/>

フェリング・ファーマ株式会社は以下の患者様向け疾患啓発サイトを運営しています。

【膀胱がん.jp】 <https://boukougan.jp/>



当社のニュースリリースは、報道関係者への情報提供を目的としています。医療用医薬品や開発品に関する情報を含む場合がありますが、これらはプロモーション、広告、医療上のアドバイスを目的としたものではありません。

<本件に関するお問い合わせ>

日本化薬株式会社 コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-6731-5237